心際に一項 協力 () 検技体を () 体験を ()

情でで、これは 野官民の旺盛なるを開催するところで あるる 「既に我國は建國六周年を經、 既に我國は建國六周年を經、 既に我國は建國六周年を經、 既に我國は建國六周年を經、 の指導の艦位にあり國勢 をより上島帝陛下の厚き側 が上島帝陛下の厚き側 の優も大の世界日本帝國の組大 を表するを置すに至った、これは の場合ところ亦大なりと を表するを設するところで表する次第で ところ亦大なりと

で本所當

でとのと朝な御はにてのま勢

THE PERSON NAMED IN 利 9 印編發

日三十月六 料廣定本金告價紙 五五五 拾拾 銭銭銭國

まな、 な主に、 な主に、 な主に、 なきに、 ののあり、は、 ののあり、は、 ののあり、は、 ののが、 のの

おいくの如き國家總動員の遂行 これを忘れざらんことを切望 を根本の條件とし、しかして ふると共に建國の理想に鑑み これが見揚をはからんとする いよく 無政の暢達、民生の には先づ官にある者自ら減私 振興を期すべきは固より論を であるの最悟がなくてはな 即ち政府は治安の粛清、教育 を訓ぶるの最悟がなくてはな 即ち政府は治安の粛清、教育 を訓ぶるの気悟がなくてはな 即ち政府は治安の粛清、教育 の の にはず官吏たる者造次順沛も 通通信の整備、農事の指導發 能 間はず官吏たる者造次順沛も 通通信の整備、農事の指導發 能

中

と官ろ各を度

るにあり、殊に治外法権撤設 とこう大なるものがある、 を設すれんことを希望する大なるものがある、 を設すれんことを希望する大変はそれんことを希望する大変はそれんことを希望する大変はそれんことを発力を設めるとを選びなるにつき各位は克くテルである。 なほ各般の電数を暴けられることを認める 数を暴けられることを認める ない は 大田 一宮所 懐を述べて 調示とする れれ意く指政夫力大各る對殿

るに関三與する。

のとすのとすのとすのとすのとすのとすのとすのとすのとすのとすのとすのとすのとする兵器使用のおきのとする兵器使用のとする兵器使用のとするものとする。

0

長支那軍

株公

内心上與大二〇二街大同大 番八八一二 ② 話電

0 日

あるに努めてい 年中行事以上の ものか

際に、國内 のである。異な

な貫瀬頭制

果はそれを示ざう 「会長會護開く、韓高が要求」

首相、

(東京國通)十二日夜行はれた近衛首相と板垣陸和の倉談は實に五時間学に及び十三日倉談後板垣陸相は左の如く語

古今曾で見ぬ珍殿様 珍優新コムビ 第 これが 笑はずに 居 5 九

足釜原藤 新設 世內 附賣 界日 演共 **勢實乘** の珍優

を見て、持てる間(も品まつて居る 上に在るか、その 製の

完全に安慶城を占領した「安慶城外にて十三日發園通至急報」城壁に據る敷の猛烈なる銃火を「安慶城外にて十三日發園通至急報」城壁に據る敷の猛烈なる銃火を

功し、

L

左隣心







於て農田の所在捜査中である

口事件

助產士、看護婦

しき凱旋

一国後につき服育あり 一国後につき服育あり 一国後につき服育あり 一国後につき服育あり

(上海十二日登園頭)十二日 (上海十二日登園頭)十二日 (上海十二日登園頭)十二日 (本) に一名の (本) に一。 (本

で日曜次プ

特別市安達海七一六大脇和枝さんは去月二十六日人から依 料された小鷺香三個と七側を 粉失した鷺再設行を中央通野 小鷺香は朝鮮釜山府佐川町六 小鷺香は朝鮮釜山府佐川町六 小鷺香は朝鮮釜山府佐川町六 小鷺香は朝鮮釜山府佐川町六 が、取謝べによつて新京田張 か、取謝べによつて新京田張 か。取り湾みと到つて再發 中の大體田青美子の手に渡された か。取り湾みと到つて再發

あす開彩

伊通―磐石間八〇キロ伊通ー 原筒山間九〇キロの自動車新 原はいよいよ廿日より開通さ なった、運行回長 である運びとなった、運行回長

十四日は經濟部發行稲民

へが希望されてゐる

事變記念日に

本秋ダイヤ改正から實現か 十三日

る 國郡線設計量の進 上南新京縣に急行列車を停車 これたき旨事額を提出したが 場級に終ても富駅調査の結果 道總局で開催された全種鉄道 であるが停車する急行列車は であるが停車する急行列車は であるが停車する急行列車は あじあを除き今秋の全編ダイ 見られる

献上熱帶植物

十分常貨物列車で新京隊に到等の鉢積は十三日午前五時三 三日早朝到着

院へ入るが多数市民の驛頭出 帰龍列車で来京、新京陸軍病 中四日午前九時四十二分新京 中四日午前九時四十二分新京

特徴主義

男があり入院中の前内権を被等室に突如侵入して來た購入 空巢を働く 籍工と偽り に積極的に

目坂本善告氏が發見離 カ海 を入れることと 附屬地行政機移讓と共に減鐵 より受けついだ西公園には經 が高地行政機移讓と共に減鐵 常

修繕工を裝つてゐたが

愛妻家の出來心

拾つた小為替を猫婆か?

鐵獻納運動

スケ所の公園の光質競倫政害 市公署は國都市民のオアシス 市公署は國都市民のオアシス

公園、黄龍公園、五馬七日の一大園、大同公園、順天公園、順天公園、所

利用者の範圍を考慮してプラン

年度から早速これが實行に参 全議神機合より派遣される皇 軍島間使上海班新京神社神職島津 野の雨氏は十三日午後九時五 十分新京輝毅、十四日正午大 海到着の上上海班新京神社神職島津 となつた、十六日午後三時上 に畑最高指揮官を、支拠方面 に畑最高指揮官を、支拠方面 に畑最高者輝官を、支拠方面 に畑最高者輝官を、支拠方面 地で慰蒙祭を執行 して出來得れば南京其の他各 地で慰蒙祭を執行

神職慰問上海班

越吉北與隆大街門牌1〇居住 取締る方針

なだもので の諸物償品 の語物償品 般に約一割騰貴

小竇商は今後充分上をせぬのにからる 一般小賣商人の暴 於ては商工公



部職六時 別職大時 別職、結局五對○で滿俱勝つ 別職、結局五對○で滿俱將つ で滿月光政で 別職大時 人事 對電力野球戰 往來

特撰おみやげ進呈御買上げの方には

陳

員は三嶋宛

(株) 月 同 同 家族 日 同 同 家族 日 一 下 本 五 三 二 十 五 三 二 十 五 三 二 十 五 三 二 二 二

◆田中太七氏(稿酬乾電池) 十三日來京職都ホテル 本武田止守維氏(日滿南事)同 日東京蓬萊ホテル 日東京蓬萊ホテル 日東京蓬萊ホテル 日東京蓬萊ホテル 日東京蓬萊ホテル 日東京蓬萊ホテル 日東京蓬萊ホテル 日東京蓬萊ホテル 日東京隆東書選氏(京和生命)同 日東京隆東書選氏(京和生命)同 京 ▲稲民災条開彩西公園球場 生なる放送 ーが戦、午後四時华

の三井物

世ず、他の一つは四川路、仁 た、同所は共同 ともいふべきを を被壊したが、同所では恰も 支人の交通業し を被壊したが、同所では恰も 支人の交通業し 投げられたものである、これ 逃亡した、なほ により市内五ケ所の業業な過 五分の四川路、 により市内五ケ所の業業な過 五分の四川路、 により市内五ケ所の業業な過 五分の四川路、 でより市内五ケ所の業業な過 五分の四川路、 でよりには で 件の際通行中の 今や上海は恐怖の夜と化した 渡邊養雄氏はた

支人の交通業しく交通巡査も た、同所は共同租界の心臓部 が、対策されば、対域の で外

す(十四日)

▲七・三〇國民唱歌「協付橋階八・〇〇ラヂオバノラマー哈瀬渓に観れ飛ぶ」(哈爾漢)

開以下の社員に在物に作物

手當臨時補

水浦の職員

一英氏(官史)同野高一氏(同)同野高一氏(同)同野東二氏(同)同野東二氏(同)同野東二氏(同)同野東三氏(同)同野東三氏(同)同野東三氏(高)同野東三氏(高)同野東三氏(高)同野東三氏(高)同野東三氏(高)同 來 **九階ギャラリー** 火災保險經營の將來に就て火災保險經營の將來に就て 聽 日"十八日" 題所時 歓 (無料) 以次保險協會



【濟南十二日發國通】濟南、 濟南徐州間電報 新京俱 十五日頃開通 電 野 西 公 午後四時半 園 球 塲

帽が出 寶五郎氏(大倉商事)同鍼夫氏(大倉商事)同

宮城縣人會事務所 常盤町一ノ一六番5(E)) HOKO 常盤町一ノ一六番5(E)) HOKO 常盤町一ノ一六番5(E) HOKO 常盤町一ノ一六番5(E) HOKO 常盤町一ノ一六番5(E) HOKO 常盤町一ノ一六番5(E) HOKO 常盤町一ノー六番5(E) HOKO 常盤町一ノー六番5(E) HOKO 常盤町一ノー六番5(E) HOKO 常盤町一ノー六番5(E) HOKO 常数町一ノー六番5(E) HOKO にとり と

世村豊原店

世界中小西面一般刑民法祥事務



診断によっ 吉街公場下 には強防と防疫に乗って流げ性脳脊髄膜 が延吉國立病院の

あ

\$ 0

1. 1

水雞 救濟法實施

する衛となり總督府水熊課をして設置し来る七月から實施 急ぎつ」あるが 他與係機關 となった

は總数五萬三千五百 出張所を設けて船標 値を行ひ釜山牧の島 のこるつて之等漁船につ を講することへなり 管は右新台帳に共き に整備して萬一事済 「北京十二日發國通」民政黨 「米)兩代談士と共に去る五日北京藩北支、蒙顯各職線に おたり皇軍將士の顧問ならび に北支事情を親祭中であつた 山道代議士等

至大なるべく期待さを原の権進を助長す 和久田兩氏

定で北瀬各地の體育指導のた久田三郎南氏は約四週間の豫 め十四日出設 吉林、牡丹江、佳木類、吟

吉林暴利取締

煙草

小賣值不定

伴ひ吉林市におけ

都市對抗豫選 南滿野球大會

三郎氏へ武蔵高等學

後介氏(大連観光協會) 関邦氏(製紙菜)同 対氏(満映)同 が変強氏(連貫)同 が変強氏(連貫)同 が変強氏(連貫)同 が変強氏(連貫)同 が変強氏(連貫)同 が変強氏(連貫)同 が変強氏(対験)同

▲芥川光鰯氏(滿鍋社員)同

新京日滿軍人會六月十四日(火)午 日滿軍人會館講堂十四日(火)午後六時

(朝日慶昭時) 曾

總局會議で討議 留學生に開する

協和會民生部大學教育科外場局留學生父兄二十餘名参 場局留學生父兄二十餘名参 心として座談會を開催する ことゝなつた

京留日學生育館小原鐵之助氏四日正午より第一會議室で東西日正午より第一會議室で東

會

十二日來京したシャム國元經濟相ブラサラサス氏は十三日午前九時半忠憲塔に受罪し続いて国務院に張國務總理を訪問し來裔の侯拶を述べ種々思義を遂げた 議鴻親交關係促進 半島置籍船

で開を受けて水産會が主體と をの要望たる水維漁船敦藤施 をの要望たる水維漁船敦藤施

急中

目調

下の選手

右募集す希望者は

右希望者は自総程歴書持番本人来談の事 名募

人年女 員 古五店 近端以上(俄上内班人に眠る)

「夏はゆかたの世界」ゆかたのあ 列 即 に依る情調豊

東西ゆ りゆる種類を改場に向積

かな新作フランス人形の一大展観…新しい構想變つたデザインに依る情 かたの棒を遊めた

會

賣



(日 蛭 火)

を完成に二篇

大船文化映畵部

個人去り新人来る、次から次へと連るダンサー諸族の移動の高層芳會館の寄宿舎では都の電子の移動の方面が一緒になりたがつより、長屋の移動風景宜しくたり、長屋の移動風景宜しくと大優等でところが何と

のだから、これをウルサ方ののだから、これをウルサ方ののだから、これをウルサ方のがから、これをウルサ方のが最といはずして河と宮はったいか。要する雑音を別はするだらう、何時だつとがなってある。とだ、彼女達のはころでことだ、彼女達の海にラデオがもつと競論風殺、夜の中にラデオがもつと発いからメンスホールというでは、ないというでは、彼女達の演奏する雑音を現場を見るとなるに、彼女達の演奏を見るとなるに、彼女達の演奏を現場を表しませる。

一大作品東東京の

日活多摩川



天下一品の

H

A

間

t b

正午まで

= = =

上上 映ススス

●四級の人 沈みたる気を引き立て心を抱べて助むべし甲と乙と丁が吉甲と乙と丁が吉中と乙と丁が吉田と乙と丁が吉田と乙と丁が吉田と乙と丁が吉田と乙と丁が吉田と乙と丁が吉田と乙と丁が吉田と八十年と長が吉田と子と癸が吉安と子と癸が吉安と子と癸が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安と子と段が吉安を表している。

化書映の『途未傷双」載所日毎ーデンサ作原忘不林 !! 篇期明く描を俗風祿元品作特超都京竹松

筹危先丁火 宿 負丑曜

襲强を臟心の性女代近 !! 場登に幕銀び再篇題問の書映藝文船大竹松

三秦島多出演主役二郎太好東阪 阪・子禮見北 双で下廊の松が介野上良吉獪老し若 るなに果結なんどらたし傷 品作督監造修田深演助學素情雲:季光質景演主子通野桑

が母るす愛を性素に故がるな女の暗しよせ視監を操貞の子桃嬢令きし美 Hile 作傑の史女野宇く描にかやびらきを夢の性女る見に何如を操真の娘

FILLINXHILL



電話 3. 3894

たの節はし 展立

五十條 荷物引取

第二百六十條 事故の写第二百六十八條 事故の写第二百六十三條 事故の写第二百六十三條 事故の写第二百六十三條 配達不能荷物の展理 小荷物の属理 小荷物の属理

第三百三條 小荷物に對 第三百三條 小荷物に對 第三百三條 小荷物の場合 上於 計算 一直 五條 於三百三條 小荷物 の保管 對 第三百八條 對 第一次 對 第一

行った。
こ三人の男が、忽ち残くて

もしやアがるご聞白いんだが

代用に使用する

らは、別に注意

1.11 4.22

戀豫

H

告

取は登低を負はぬ また更に収資量からは、 また更に収資量からは、

大領・同型 = ユース R・ K・ O = ユース

桃干の貞操

のあるなめだ。

者

앞

9、何故寫眞をこるなら、一幅20年ださ

他の費用の費用の手が

荷物連帶運送規定

洲空陸旅客及び

が、これでもう、河北政権が今や全く機械に演しれこさが日時になつた。そこへ、又大使館からの通法が過された。そこへ、又大使館からの通法が過された。最も危險で

7-32 日 或齊後花

長競提出たき場合の引

近く改訂交渉となるので外務省では近く流源と見たフィリッピケ年間延長を見たフィリッピケ年間延長を見たフィリッピーのは日本総布輸出協定は来る七月末をもつて期間稀了と

本限保大豆 光週末奔落の跡を受け週初六日六月限六・ 大〇〇七月限六・八五〇と始まつたが繰気が日六月限六・ が戻りは賣られて漸落が開出して急落押目には買氣あったが緩気投機機出して急落押目には買氣あったが原位にまで陥落したが中面で直にまで陥落したが中面で開発の市況一段落と地に安値能えの買物現れて

新京取引所

奉天紡紗

か

ら操短決定

東京株

各地株式市况

二九弗 為替

敵前銃後

一志二片〇〇〇

相場戦りを呈し輸出航又市 七七〇七月限六・八六〇と 引戻し小康裡に越逃した 引戻し小康裡に越逃した の 高梁 出來不申 高値 安値 出來高 工力限 **20 ***1 31、151車 本 本 200 ***1 31、151車 本 本 200 ***1 31、151車 本 本 200 ***1 31、151車

日一日三増すばかりだ。

霧隔の街(八)

(四十五)

の徳局第一會議室

局 識

重要物產商况

観し種々無談を行ふ

室へ飛び込んで

新木新霉

室内こ

電3-5243 通し新京神社裏南角

州の二の舞かも知れ て来た新聞記者 るごころへ、廊 るごころへ、廊 出来るやう 人だ、何か 米日間 路色! 費の山に入る 11.49 2.33 水島道太郎オーラー・ 12.55

銀座文

階下 七十錢 九日より十四日まで

豊樂馴場

3

コトモ服 オープン 白セーラ型 シャツ 女子通學服 國防色 男子通學服 婦 人 テーブル クロース

婦人

下

御注文次第配達いたします 吉野町 7

急

のフジャアイス最中を發賣いたしますから一度是非御試食下さいたしました、夏季の間菓子は不向の爲アイスケイキ專門殊にフヂヤ自慢弊菓子部改造の爲永い間休業中の處本拾日漸く竣工相成同日より開店い

電話③二〇七二巻

(一ヶ拾銭)

告

十八日よ 後 座篇 六月廿 名優 八代目 成駒家 隔次配。婚 和家 都 フ 7 H 0 御 きに t (二)日間 4) R 會 堂 登場

12.00 3.00 6000 9:00 ス 9.30 治 6.30 10.30

たっぱりには、これを聞いてたっぱりまつ

らしい。

少くなかつた

一或る女の道で、女の道で、女の人の東野太郎代見信子で、月夜の東野太郎代見信子で、月夜の道で、女の道

座

さころへ、今男とした 後のは言葉が足らなかつな

飛び出して行

・毛沢はまだいト は一個以上は通用

電話

0

珍版太 關記 選組 12-24 1.58 4.50 7.52 實寫と漫畵

ニュース

悦ちゃん部隊

入や財布製りを 大好同盟RKOエユー

信を破する事も出來ない。只信を破する事も出來ない。只信を破する事も出來ない。只 新聞記者も、勿論何んの通 新聞記者も、勿論何んの通 新聞記者も、勿論何んの通 一局は天津

ないから、事實が少しもはつないのだ。それも連絡が取れ

するさ、突然養男勝員が飛って は通用しなくなりました。 は通用しなくなりました。 た。 動きながらも、 動きながらも、

男女はその威勢にたまげて逃 がて行ったらしい。 がで行ったらしい。

新京十大マ 2.22 5.14 8.16

自慢のア

國境の風雲 0

界

7•30 月 8•00 日

映画御架内

京京 京 田 水 三 三 東 東 東 東 田 水

米四人は米國

家日上

勇力

日上

爛豪華を誇る大歌舞伎!!

新香茶とほうじたてのお茶は

大石茶舖 (三)六四二七番

用 夏夜具 夏座蒲團

豊富品揃

電話③二〇七二番

奥 茶

ル發賣致します

御引立の程御願致します。じます、漸く本十日竣工同日より開店いたしましたから從前通り何分の弊喫茶階下ホール儀兼て改裝の爲休業いたし皆樣に御迷惑相掛恐縮に存

司法部大臣指示 司法部大臣の行びたる司法部關係の指示要項左の如し 司法事務の的確假正とその如し 整備と檢察題自體の強化の 多を以てしては所期し得ず 禁補助機關たる警察官吏の指導訓練 みを以てしては所期し得ず みを以てしては所期し得ず みを以てしては所期し得ず みを以てしては所期し得ず かったる。

京田男園公訪問 (東京磯通) 西國寺公秘書原田熊男男は十三日午前十幹興田熊男男は十三日午前十幹興田熊男男は十三日午前十幹興田熊男男は十三日午前十幹興

げたり、なほ宮里大佐の指揮する特別工作機も同時に江岸通りを確保らに城内外の磯敵揺窩を開始したが早くも城内外には敵一兵もなく住民

し直ちに桟橋を構築した

して 市内要所に 軍艦族を 市将正面の岸壁より上陸

上海十三日發國通 去る

大混亂

揚子江

Ŀ

遠雷の如き締ぎを続けて る、陸路安慶日指し進廠 る、陸路安慶日指し進廠

が無敵揚子江腔脈の本縁は績 | 先頭に巏艫○○隻を贈へ安慶 | に中歳、漢口水路の躔り安慶 | 我が水上機は銀翼を連ね雨除の安慶江上占領について我 | 十二日午後五時中旗艦○○を | 浮べた、茲に南京遡航以來賓 | 手に難するに至つた、こので、企のと | でと | 一年後五時中旗艦 | 一声音前面の江上に悠々威容を | の江面は全く我が無敵艦隊

を時

同夜十時途に安心に入城せり

七延両楊委麾下に防禦陣を布い

連續爆擊

○前の抵抗を排除し六月九日間を胃して泥潭悪路と執拗なその有力なる一部は連日の8

更に敵を

南方に急追中一三日桐城を占

肺然たる豪雨衝き

追詰ら

海空世

てゐるが、午後二時半わが方機銃器の銃撃はます~~激しく股々として江上を壓し飛行機の地上翻射られた敵大部隊は安慶對岸に姿を現はしたので、江上に投鍋中のわが江上艦隊○○隻はこれに對し各一十三日設國通》安慶對岸に進出した陸軍部隊は十三日朝來附近の山地に散在する敵を江岸に壓迫中で

(〜激しく股々として江上を壓し飛行機の地上錯射もこれに加はり江上一帶に海陸空上に設鎖中のわが江上艦隊○○隻はこれに對し各艦一齊に砲門を開き猛烈なる射撃||日朝來附近の山地に散在する敵を江岸に壓迫中であつたが、同午後一時半頃に至り

避難支那船で

平生 氏渡支 (東京國

つてる

も陷ちて

城屠る

上もは迷たれ事

任駐在梁號代表部事稱官 銀度任大勢 康總五年六月十四日附 。 然來京

液の紫板器に上

定建 治る

一大縣資振って康荼あれ・ ・ミス・モタン浴衣一百反 ・ミス・モタン浴衣一百反 ・シス・モタン浴衣一百反 ・シス・モタン浴衣一百反 ・シス・モタン浴衣一百反 ・シス・モタン浴衣一百反

名

参觀記……

專賣局 年の の頭異 0 玉佐中清

及小説

條二火狼の圖合。

(日曜火)

上前敵江子揚ため極を烈壮

本達 三日午後一時發表—わが〇〇 し夜に至るも攻撃を續行し、 一次 「三日安園通至急報」上海第十 東方及び東北より安慶に肉湾 と記簿を買して一路 早朝わぶ海軍及び飛行陸の密にこれを居つたのである 「三日安園通至急報」上海第十 東方及び東北より安慶に肉湾 「共に豪雨と泥濘を開始一擧 接かる協力の下に安慶東方地震に 大に豪雨と泥濘を開始一擧 接かる協力の下に安慶東方地震と 三日午後一時發表—わが〇〇 し夜に至るも攻撃を續行し、 省長會議第

日(午後)

指示内容は

運用に関す

し忽ち安慶殺到

『上海十三日 **漫図通』 経験報** 道部登表=十二日海単航空隊 道部登表=十二日海単航空隊

本月中に夫々赴任

蒙疆 代表任命

中國通商代表

中 前島部隊のため猛爆撃され大 ・ 古 軍船に分乗して移動中をわが ・ 遺部午後三時競夷一十二日海 ・ はた往しつム西方に潰走した ・ まり火災を廻した城内外は炎 ・ なとして二晝夜にわたり燃え ・ なたり、別際は虎門飛行場 本大倉裏七郎氏 十三日來京 本大倉裏七郎氏 十三日來京 本村田界二氏(三菱商事)同 清演永武氏(副昌公司)同 同)同國都ホテル 管)同瀬震ホテル 管)同瀬震ホテル 京)同國都ホテル 本源順職就氏(副昌公司)同 本院県職就氏(司)同 本院里郎氏(京城惠賣局) 市川留宝氏(京城惠賣局)

記かる法 ソタモ

後退はしないであらうといふしかし日本はもはや大谷から、大陸經營に要する巨額の投資

カと産業力に於いて遙かに優 大が行政の大體を支那人に任 大が行政の大體を支那人に任 大が行政の大體を支那人に任 大変がである」さら認めつよ「日 大変がである」さら認めつよ「日 大変がである」さら認めつよ「日

こゝを官つてゐるだけであるとの點では論者は詳しく殺いこの點では論者は詳して好故

支那事變を繞る

の建直し、法幣の組織的防衛の最重防止、外貨割常の再檢への最重防止、外貨割常の再檢への最重防止、外貨割常の再檢へ

東亜の時局

下

三列國漸く對

支認識を改

の国祭である。米國はどうかいて同時にソ聯が職争を賭しいこといふのがこの論者

北支各機關聯合 提共滅黨週間

た歐洲と亞細亜の角戦線に

は、シャム前極濟大臣ブ・ラサラは、シャム前極濟大臣ブ・ラサラにおける。
空で星野總務長官と自見、長時間に亘り滿洲親等關係州進につき極めて注目すべき意見にの変換を遂げた、即ち右禽談において励者の間に滿通兩國において励者の間に滿通兩國

0)

認

御慰勞の午餐を賜ふ

一封を下賜その功を稿はせられた、陛下にはついで板られた、陛下にはついで板をれた、陛下にはついで板をいて茶菓を召されて和慰娇の思照版に召されて茶菓を召されつゝにおいて茶菓を召されつゝにおいて茶菓を召されつゝにおいて茶菓を召されつゝにおいて茶菓を召されつゝにおいて茶菓を召されつゝにおいて茶菓を召されて、といて、

中に完成中に完成年

が、同船の談に が、同船の談に が、同船の談に

高津に入港した で、 は神戸行石炭 でラデオ

親しく武勳談を御聽取

加

說

聖上、

三將軍

を召さ

血眼で捜査

大阪、ウラデオ

朝郵

の盛京大

・ウが

一日支機能の激化のうちに 出本人が重細重人の中でも断 然強いといふことを我々はは かり支那軍を片つばしから粉 で行くその武力は誘
順に にはなった。 総袖一觸とば がり支那軍を片つばしから粉 びに陸軍次官に榮頼した東、軍状を詳さに奏上したが、 し御紋附銀花瓶ならびに金から帰還した香月中將なら、香月中將は北支聖職管下の 更に香月、東條兩將軍に對十三日午前十一時北支戰線 た中村少將にそれて、賜謁 れ優渥なる御言葉を賜ひ、【東京國通】天息豊下には、條中將、軍務局長に榮轉し 陸下にはその武功を嘉せら

軍用機の對英輸出 禁止方要望聲明 全米六平和團體起つ

提携策を攻撃

と述べた、これに對じ張總理 しが行はれてゐる。 と述べた、これに對じ張總理

と答へ歌談三十分、兩者とも 意見を吐蘇し合ひ同十一時會

【北京十三日菱殿通】明則中 古日本人は益々増加しつゝあ るが、かねて在支日本人の管現に伴ひ北支入りを志 を計量し目下関係各方面か の管理に伴ひ北支入りを志 のたところ、その第一語手と して目下工事中の北京日本人 中庭大学にた、同校舎は東城 時府骨の空地約一萬坪に總工 をに決定した、同校舎は東城 をは東長安衛の現小學校訪 をは東長安衛の現小學校は明 をである なは東長安衛の現小學校は明 をでより開校の日本人 をである をは東長安衛の現小學校は明 をである。 をでする。 をでする。 をである。 をでする。 をである。 をである。 をでする。 をでする。 をである。 をでする。 をでなる。 をでる。 をなる。 を

長老諸權威より

外相、音

別的にこれ時間氏と會見その の自合を護會に今後も歴々個 の自合を護會に今後も歴々個 の自合を護會に今後も歴々個

線に於て使用 なり有質底湯調 前十時半大連調 前十時半大連調 前一時半大連調 があることへない にある。右端端からは である、右端端

九三一

だも國民政府に對する外図 だって はな任疑問とせられ、孫科は はな任疑問とせられ、孫科は 政府の態度に微妙な 本的には殆んど變化なく、支罪に對する同情的態度は 印度支那の日度を

手形交換高

院定しなかった事 説を與へた

國政府の態度は

【東京國通】字垣外相は就任 以來わが外交陣營の强化を目 指し續々準備研究を急ぎつ」 あるが、事變下の極めて機微 なる内外情勢に儼みその政策 なる内外情勢に儼みその政策 外交陣営の線野 の成果が埋 日下純鐵製の数

高級刀を愈々戦 一時士創案に成る へ初見多 ないと 殿建設計畫 通) 市和多年の待望たる武道の總 本山武徳殿はいよ (東京府 一として建設されることにな つた、府では過般來全日本學 では過般來全日本學 期行をもたれてある

かゝつてゐたが、成案を得相談役に具體案の作成にと

(短期) 125.20

期待されてみるべく 策遂行に慎重を期す 総裁綱自慢の滿銭苦心の作で すること」なつたもので軍の 要望によつてはこの近代科學 の粹を製めた昭和正宗とも云 ふべき瀋磯刀の大量生産等も 東京府の武徳

商况標 後場出

し強硬抗議を提出する



龍文堂

家家店

長路

岡

電話(四)二四五七番

舊オー

ストリア

外债管理委員會

式作理造 網戶建具の御注文は ぜい長岡

店舖改 7 信 あ 3 店 專作製品文

報復手段と見られてゐる とで先般の露船抑留に對する とで先般の露船抑留に對する 得るところなく引揚げれるのゲ・ペ・ウリシみ約二時間に亘つり込み約二時間に亘つりたが、鍵がなかつたりなが、変がなかったりはを開なく複変し船室といるところなく引揚げれた叩きない。 る運びとな る七月の臨時局

張總理に挨拶 氏は家族同伴十三日 是事務官着連 目の的と

驚嘆すべい

議議別のこの爰展は全く日本の援助によるものだ、わ本の援助によるものだ、わ本の援助によるものだ、お本の援助によるものだ、お政策に依存したからだ、 は國民政府が第三國の奸惡 が別國に負國との關係を增 が別國に大からだ、 が別國に大からだ、 を対したがらだ、 が別國に大からだ、 が別國に大からだ、 が別國に大からだ、 を対したがらだ、

險科に轉出した事務官星慶三省保險院より滿洲國郵政屋保

厚生

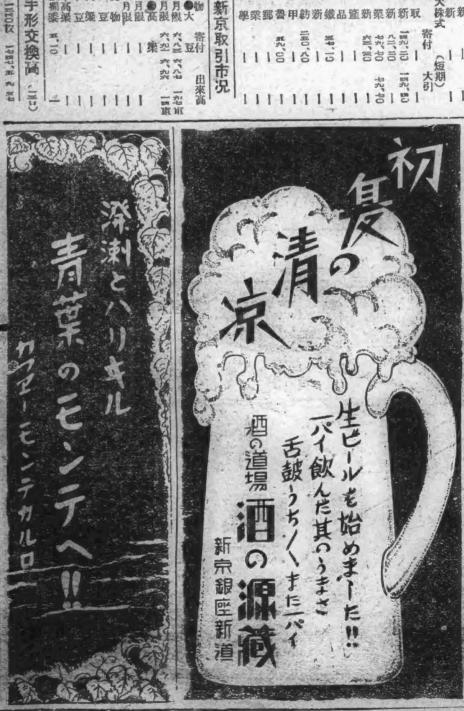
東洋人として肩身が廣い

サラサ氏、

たってるるとして想

總工費二百薫版、場所は大陸 かりート、外観は日本風とし 都の武徳厳も一支部の恰好と である、これが出來上れば京 である、これが出來上れば京 本の武道團體全部はこ 豫算は

.70. ... 120 424 ...



臣

指

全

省長會議

第

-月 我が孤維樹では居住間胞十七百名の賞でよりの念顔町つて百名の賞でよりの念顔町つて 今回水田和合長金藝町氏の擔留で新房賣配献納米を農新襖 窓で新房賣配供納米を農新襖 となり 大月二十六日新京總領事館岩 分割配生外關係官公署員並に 谷書配生外關係官公署員並に お住鮮 購入多数 が列の中に 新住鮮 購入多数 が列の中に 新 滅新に岩り宮梗源で七

である。 なは悪管信者ではないが なは悪管信者ではないが なは悪管信者ではないが なは悪管信者ではないが ないである。 から時々間 が一帯を開 が一帯を開 が一帯を開 がいるる。 がいるる。 がいるる。 がいるる。 がいるる。 がいるる。 がいる。 がい。 がいる。 がい。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がい。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がいる。 がい。 がいる。 がし。 がいる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 がしる。 知何なるもの 地は自國勢力 地は自國勢力

でも正義に反す ・ 本り、又何ル本 ・ なが中島の問題 ・ 大に審判員の他 ・ 大にを ・ 大に審判員の他 ・ 大にを ・ たにを ・ 大にを ・ たにを ・ 大にを ・ たにを ・ たっと ・ た ります。 ります。 ります。 速度に復復した原因れたか?、大限後の

に 合致せしむる

地所有者印候簿を調

深一声 見解納實 科耳外尿事 物人介內 療料科科科門 士婦學醫 長院

裏朝鮮兩幹線に

桑葉發育縣念 「京城支局」京畿道に於ける 春蠶飼育於況は最近打級く滞 曇氣邁低下に桑跋軟場にして 桑に懸念されてゐるが、目下 の庭飼育に異似なく織括的に 大づ良好の飼育状態に推移し

競並に内部補支貿易制膜を期か完成の翳は裏胸鮮の經濟別が完成の翳は裏胸鮮の經濟別

線ホルモンと野魔を置の総合体で連絡ホルモンに、公別の観音を洗

は酸育生長の要比で

送力増大し準調原線としで件び重要物資の出貨著しく

補强施設

云ふべきの地ホルモン する院職は

だす薬用クラフ美身クリ 者へになったら大髪な間違い 面からいきなりホルモンが 像湯が出來たり弛んで來る 素権したり緊張力を失つて **榮養が不足して内皮組織が** 吸收されて岩さと美を生み ひです。それは皮膚内部に 表面の出來でとであるとお からです。それには皮膚表 御常用が何よりです。 やたるみが唯皮局 来とはどんなもったと、膵臓神

る 3 み み

所作製械機原際 舖老賣發洲滿 藤 行 社會名合



一つは全國民が一致画結して 一分の利害關係を超越して の内にある多数のユダヤ の内にある多数のユダヤ の内に置いては民族の のであります。 このエダヤ人になるの たからではないと選続に審判を にからではないととして全く のであります。 このエダヤ人になるの たからではないと思ふ。

大大古内地人に例べる丈でも汚ら をいれ、牛島人には光天的に日本人」となけれ、牛島人には光天的に日本人」となけれ、牛島人には光天的に日本人」と一点であるが、牛島人には光天的に日本人」と一点であります、雪霜あつて始めて低の強を行動を知り、関難有つらされて始めて低の忠を知り、関難有つらされて始めて近の忠を知るのでは、大古内地人と同様の血を受し、表古内地人と同様の血を受し、表古の地人と同様の血を受したが失過したが失過しなるのながら御最もな御電器と思います。

二、腹急地等整理以行區域を 左の通修正寸 大の通修正寸 大の通修正寸 大の通修正寸 大の通修正寸 大の通修正寸 大の通修正寸 大の通修正寸 大の通修正寸 、事業内容に付左の通修正 常に於ける不可耕地就空 常に於ける不可耕地就空

に定計量を修正せんとするでは、 を行ふの必要をし又一方土地製 を行ふの必要をして力土地製 を行ふの必要をあり をでいるでは可及的速か をでいるでは可及の地でであります。 をでいるでは、 をでいると、 を 入ケ年間に延長を整理期間を販売

石返り美容に就いて 語る高杉總

廣告の御用は電話3三三〇〇番

衫

家

醫

院

時と胃病中

ます、急性胃炎の原因として に、急性食餌中毒とか急性消 化不良があげられ、慢性胃炎 の原因として、不消化性食物 不完全咀嚼、酒(ウイスキー

あります。肺結核、助膜炎、 から胃内、排泄せられる縁で から胃内、排泄せられる縁で が胃の粘膜

結果を招きます、そのほかに に関的に排泄するので同様な では様ながあると腎臓か

原因として、不消化性食物、急性食餌中毒とか急性消水、急性食餌中毒とか急性消水、慢性胃炎

と食慾がなくたります。

来て慢性胃炎を起すのであり

とつて可成り有器な物質も出ものよ分解管物からは人体に

萬根

・ 三五編灣市児(大連) ・ 三五編灣市児(大連) ・ 五九時報 (東京) ・ 五九時報 (東京) ・ 五九時報 (東京) ・ 一覧 (東京)

四、四〇經濟市況。 (大通・新京) 引線を新京野球聯盟リーグ 職實況(西公園野球場より中澤) 工、二〇ニュース(鮮語) = 野球を中断す = マンドリン獨姿(野球なき場合放送)

八

發病原因

胃

又どん

画載

屋のなめ

色となど

本、五〇中等滿洲語講座(大連) 大、五〇中等滿洲語講座(大連) 大、二〇氣象通報 八、二五建圖體操 八、二五建四十二 一〇、四〇經濟市況 (東京) 一〇、四〇經濟市況 (東京) 一〇、四〇經濟市況 (東京) 一〇、四〇經濟市況 (東京) 一〇、三五家庭3 年 一〇、四〇經濟市 一〇、四〇經濟市

東京無

人、〇〇ピアード 五つの

シイライツ

治る筈の病氣も

食慾をそゝる大切な要素ですですが、形や色や香りなどはですが、形や色や香りなどはですが、形や色や香りなどは

材料として

かり易くなることは申すまで で、健康な人々も病気にか でする。

く喰べられるやうに心を配らして、美味しの調理法に注意して、美味しときは尚一層のこと、榮蹇物

とよ、食器などにも注意することが必要でせう。 制理の際香味料を用ふること 病氣によりましては、刺熱性 のものは一切不可ない場合も

な運命に置かれるでせらかれるでせらかんだ制服は卒業後どのやんんだ制服は卒業後どのやなんだ制服は卒業後どのやなんだ制服の腐女」達の五ケ年間の存出という。

から包達年

*** はれて時たま取出されて ものもあるでせら、或はまた衣裳簞笥の奥に大事に仕 た衣裳簞笥の奥に大事に仕

ふ

番

4. 110ur

脚色並渡り

粉

大・三〇ラデオ體 ・大・三〇ラデオ體 ・大・三〇ラデオ體

三〇ニュース、時計台の鐘

大、二三講演 七、〇〇ニュ」 七、〇〇ニュ」 七、〇〇ニュ」 七、〇〇ニュ」 七、一〇〇ニュ」

本項●番組織 本の 番組織

新州語講座 C大

○、三〇ニュース (東京・新京) 一、○の經濟市況 (大連・新京) 三、五〇經濟市況 (大連・新京) 三、五〇經濟市況 (大連・新京) 四〇ニュース(東京) 級通報ニュース(新京)

氣

東京商工会の本で、四〇講演

不慾食

調理法を色々

工夫して見る

(四):



はありませく。熱のある病気の場合や、運動不足等のはありませく。熱のある病気の場合や、運動不足等のはありませく。熱のある病気の場合や、運動不足等のはありませく。熱のある病気の場合や、運動不足等のはありませく。熱のある病気の場合や、運動不足等のはありませく。熱のある病気の場合や、運動不足等のしめ榮蹇物を考慮する心要がありませう。 々樂ぢやな

じ材料 で B

なければたりません。同一村 けいろく と目先が髪つて美味 からいふ食愁不振の時こそ、料理される方にとつては絶好の はされる方にとつては絶好の は **食慾を起します。徳じて** も懸くないよい刺戟となつて 食慾のないとき

ちの榮養物と印して

HHH

青 学 学 の 明 空山

都々逸

○八ラデュ

才級

主として、 東京 を 東京 で またいで またい またいで またいで またいで またいで またいで またいで

△泡立☆ムレッ――初めにサラダ油と酢を大匙一杯づつませて、胡椒で味をつけ、夏みかんの皮をむいて浸しておきます。 玉子二個をよく泡立て ト軽く鹽と胡椒をしまします フライ鍋を火にかけ温まりましたら、パター少々を落して ふわりと焼き二つに折つて皿 よわりと焼き二つに折つて皿

の輪切りと経り合せま 夏みかん 2

△魚のゆば絵――豆腐は生のまゝでよくしぼり、魚は肉挽で挽くかスり鉢でよくすり、豆腐を入れて混ぜ合せ、鹽少々玉子の白味半分をくはへてスリ合せます。この他にトマトの皿焼やほうれん草のスープや箭らしいリンゴやパナナや胡瓜等のサラダは、すべて

性器の弱小に惱む

相

娘時代に

赤ちゃんを

母乳そのま

本の男子で得座いますが二十一字の時妻を迎へまして只今子供が二人居ります。今迄は〇〇に際しては其の都度人並の性器になりますので左程苦の性器になりませんでしたが最近しますがよく雑誌などの廣告に真空管療法とありますが果して其提供で人並になれるでして其提供で人並になれるで 真空管療法は?

さ夫なと世の (答) ない思めの は関かり は関係 が結婚 もにとす人招が結婚

先年女性とし 先年女性とし が見は結婚生活 大主人に私が處 大主人に私が處 私事今年二十

の最もなぁさい、い

女性と 五郎) 出版

さるでせらが生地が疲の通學服に改裝するこれるでせら、それから 存じます、皆 がばいてい か、タリ

す、マア簡単なハウスドレス 情長い期間審古されたもので 常長い期間審古されたもので といい しても 悪に角相

などに改造す 若

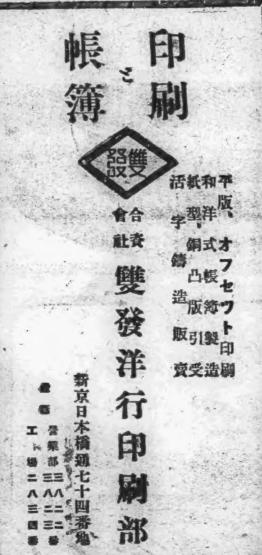
法をお伺ひしま と靴下の活用 でもあし い。医語せ

個子を切り刻むこ



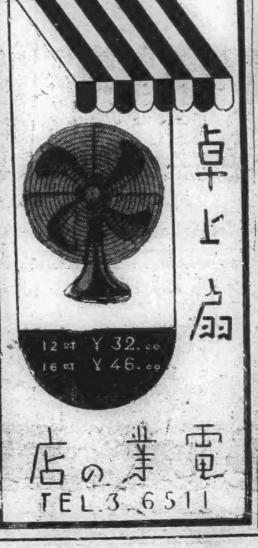














新京東三条預 元番

この鍵は悪いんだつて

るかのやうに、画面以外が添く緊張。被はれてゐるのを知った、拳闘場で審判官に勝利った。後の唇はまがつた。後の唇はまがつた、何が彼の脳裡で厭ひを変た、何が彼の脳狸で厭ひを変か、またその意識的偽詐を製ひ上げるか、またその感動性を持つたを験に對していかに備へるか、またその感動性を持つたを験に對していかに備へるかっていかに備へるかった。後や彼のやうな

もその二十銭銀貨を貰へたら その方がいいのである。その 時、太陽は依然はげしく照り かけてゐた、この二人の當事

信えなかつた。銀貨をびしずり彼の手掌に押しつけて、身 り彼の手掌に押しつけて、身 慢をひるがへし戴に進んだ、 機はだまつて後に從つた。そ れが何なのだ、人道か、仁慈 か、婚閥か、實容か、そんな 虚偽をやつて彼は威張つてゐ るが一器何のためなのか?音 とした、私の後についてゐる

ピスト祭集

タイレー 管脳タイプ 総合教授 日本タイプ 総合教授 管脳タイプライター 震測直養所 日隣タイピスト學院

電話金融 低利で放逸に

白金·金·銀高價買入

横濱屋質店

左手にその銀貨を持つて雨を開を眺めた、突然、右手で拳側を眺めた、突然、右手で拳側を眺めた、突然、右手で拳側を眺めた、突然、右手で拳側を眺めた、突然、右手で拳側を眺めた、突然、右手で拳側を眺めた、突然、右手で拳側を眺めた、突然、右手で拳側を眺めた、突然、右手で拳

示したり、鬱煙で 瀬巻家が寄附 金葉県 鋼つた笑ひなどはな

いやさうぢやない。 りと坐つて、南京豆を費りと坐つて、南京豆を費

すべてそ のは第一

てその論感の出處を明かっている。というの論話を批評する時にはかっている。という

(六三號)

近を問はず

緻速に御伺

質流品

大安富員

心堂

と、曼! わかった はい、はいと云ふんぢや、 何んで はい、はいと云ふんぢゃ、

は臨には京城らしい都會に住む青年達(内地人と半島人たち)が描かれてゐる。それに襲者とか、女給などもあの酒を飲み女に戯れる場面だけで、どうも有り難くない。ただ民族融合の歯があがつてゐるらしいことだけはい。ただ民族融合の歯があがつてゐるらしいことだけは喜べる。

本内地で賢り出してゐる唯一人の半島の作家なのだ、もつと氣魄あるものを思いてほしいと思ふのである。それにしてもと本内地で賢り出してゐる唯一人の半島の作家なのだ、

入つて行く手代を見済ま、へい………

れするからな、御主ないてゐる曼娜、

NA NA

一張赫宙「雰圍氣」 (『文章』六月號)

2

聞

。そして、急に泣き がき返へ、曼娜はいま がき返へ、曼娜はいま

るま場ん

厭です、

朝々々選ぶのが可哀そうでれりや、手傳ひ賃も渡すしれりや、手傳ひ賃も渡すしお前の云値で買取ることもお前の云値で買取ることもお前の云値で買取ることもお前の云値で買取ることもと云つても、わしのうちでと云つても、わしのうちでと云つても、わしのうちで

見た時、曼娜は、はつとする ・一勝! 麟ぢやないか、 ・一勝! 古の一部でない ・一、曼娜が指を彷徨してゐる ・一、曼娜が指を彷徨つてゐる ・一、長郷が指を彷徨つてゐる ・一、長郷が指を彷徨つてゐる ・一、長郷が指を彷徨つてゐる ・一、長郷が指を彷徨ってゐる ・一、長郷が指を彷徨ってゐる ・一、長郷が指を彷徨ってゐる ・一、長郷が指を彷徨ってゐる ・一、長郷が指を彷徨ってゐる ・一、長郷が指を彷徨ってゐる ・一、長郷が指を彷徨ってゐる ・一、長ので子(長郎)

原作、脚色

としてゐる娘は、曼娜であれば、候志昻であり、無理性は、候志昻であり、無理ないら、恐る恐る入つて來るから、無理 手代に、志弟が女の力、 で行く。 で行く。 おおが女の力

一へ、へい、何、ちよつと忘物をしましたので、取りに行つて來ると申しまして、行つて來ると申しまして、行つて來ると申しまして、情貌が、如何にも騰揚にしかも逃がした魚の大きいのしかも逃がした魚の大きいの のぢゃ、美 皆んな、割 、美しい曼娜が、毎高に買取りたい。 「いない、「いない」の作物はな、わしがいました。

毎いがお て來る曼娜! 三人の喧嘩をて、人を捜し求める禄に入つて、人を捜し求める禄に入つりの親分の馬室の。 氣魄が無

毎度毎度へい、決

10

IJ

(釋者の顧書) 人たる筆者が『文學』第六 人たる筆者が『文學』第六 ものについての興味以外に 最近支那でどのやうな文趣 理論が行はれたかをも知り 得る一資料となるであらう である。 「関連を取った所以である。 (大内監維)

「典型」の問題は文藝理論の中心内容の一であつて、多くの人が意見を發表してゐる、私は文學社例が一を書き)相難ながら解説して置いた。それから半年を經たのだが、今日一月號の『文學』を見ると、周揚氏が「現實主義試論」の中でやはりこの問題に觸れてゐる。ただ彼はこの問題に觸れてゐる。ただ彼はこの問題に觸れてゐる。ただ彼はこの問題に觸れてゐる。ただ彼はこの問題に觸れてゐる。ただ彼はこの問題に觸れてゐる。ただ彼はこの問題に觸れてゐる。ただ彼はこの問題に觸れてゐる。今日一修正」を下してゐるだけでの「修正」を下してゐるだけで に對してはそれがない、これ では讀者は私の全文章を後の を對照することが出来ず、象 の鼻だけで樂全體を推すとい 。 本危險がある、第二に彼の論 と對照することが出来ず、象 の身だけで樂全體を推すとい かっしめるものである、だか

で、その持つ普遍的といよだが普遍的といよ たが普遍的といよっ の各個個體についる o観念のやもである、 もの、この雨渚は相矛 持つ普遍的なものと特

人物が屬してゐる社會群裡 の各個個體について言ふの で、所謂特殊なものとは別 のである。辛亥勤後から現 在の少数の遅れた地方の是 民について言ふば、阿Qと いふこの人物の性格は普遍 的である、商人群、地主群 労働者群或ひは分のと 場について言ふば、阿Qと いふこの人物の性格は普遍 がある、商人群、地主群 (保祖本) (保祖) (Ru

・ 水城京一、古城 野作品を盛る(大 野作品を盛る(大 大和運転でラック 農產物麻袋。 即越及建築工

一道等、 済州 一道等、 済州 一道等、 済州 電話③五十次 を 電話③五十次 を 電話③五十次 を 電 派は

灸飯あん 六六九番管禮婦會 F 百貨店 貨

関

勉

理

んま特設

一四 をなさざる品 をなさざる品 の常店に限る 新京吉野町二丁目 お茶 ٤

側東書腦洲稱路馬七四 所房煖下松 3 八〇〇一(2) 意電

に依る

神社社 東一條通り一四 御入學用靴と 安心して買へる店

今辨慶整骨院 最新3五三六一番 靴は金城

話測

の御用は

門の

ほかつざ

自疆會

者共に本領へ

古光堂療院 思述 一方光堂療院

者ふ 3 資商

痛経神 病 麦 (所ンタリポロト人)南場創祭豊

東洋 京龍 人

御用

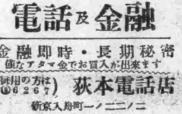
寫沢北

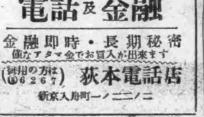
三元

賃製版斯







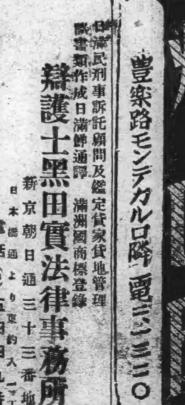






公告号(3)雪儿二月通兴中

目品汲取 東亞ペ 各 羅紗 石炭指定 加藤洋行 1 洋服附屬品



できたいとうなるとうとうとうとうというできることが、 電のに当に 內科性病科産婦人科 西山山 山 19 8 8 11 12 E. たる。



事 石石國ト手荷日小税 賞 到 到 設 斯 炭炭 ラ / 荷橋 明 初記 車 倉通語 間 所 職 設 務 在二三五三二五六二四六四二二三五二六 九一七八三一一人五一〇六一四六〇八六八 三三五八一九九八一八四三九八六五八六七

荷造及市內運搬 引越荷物。運送及運送取扱 通關代辨 全工 一個 案 內 國際運輸點新京支店 **倉庫及金融** 委 託 賣 買

線 図門 院 入院の設備あり 住 吉 勝 也 最を大質三〇三磯屬販若寺筋両 中 3 五一 00 二 番番 险 入院の設備あり



美しい なあ、

験が、い

には姿が光つて

(「文學百題」ニー 性格は特殊的なの

格が辛

五神田一周金金の八十十六約東

電話 質ひ

六三六番沿籍

之 花 (六) を まの花のついた 現職のかん さしを 龍鋭が 志昂に 手渡 了、 でしを 龍鋭が 志昂に 手渡 了、 でもの 墓消の花に ダブつて、 夜店の露店花屋が 愛る草花、 婆れかけた 草花に 霞がいつばい

水が、急に様子を 一人の流浪兒が貴婦人から五一人の流浪兒が貴婦人から五一人の流浪兒が貴婦人から五に銭をせびるが、これはもうどうしても果れないと諦めると、その貰つて有頂天になつてゐる流浪兒から、五銭白銅をひつたくつてしまふ。泣きつく取られた流浪兒、殴る地酔二人は大勢の居る通行の前で、喧嘩をしてまふ。二人を関んだ通行人、スリをするス へ。その一人は地跡であ 施しを請うでゐる流浪兒 化量の前で、通路の人達 そのうちの三人

ですと云は

隣は曼娜姉さんの幻想にふけ る。麟が未だ空ろな顔で見て ある。親分が出て行く。

胸の特殊的た存み

東の六〇四十

活様式を存在

連やかに溶明。 ・ は等の場には ・ はずる。 ・ はずる ないでは、 いっちの一人が曲然をやつのうちの一人に、一銭與へてゐる。 のうちの一人が曲然をやつのうちの一人が曲然をやつ 顔をし

スリの親分の家

受郷の闇にほ

みるかか

られてゐる。

同人や班主とは違って であっこのもの々なのである。若し阿Qの性格が であっこのもの々なのである。

やうに描かれることはない。農民は商人や地主と同の最も拙劣ない。 感で深く人々の脳裏にない。だけたらば、彼

見は完全に相反してゐる。 見は完全に相反してゐる。 見以に對しては普遍的である。 周揚氏はそれや阿Qは彼 の代表する農民中でも特殊な 存在であると言ふ、二つの意

まがます。 東京語音二十以上 東京語音二十以上 東京語音二十以上 東京語音 女は、 対都職業紹介 新都職業紹介

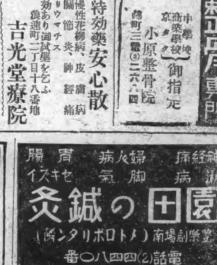
ロシャ東子 中央通二十一 中央通二十一 中央通二十一

配の 大九にして身体 一大九七一大字 一大九七一大子 一大九七一大子 3二七四七

成町二ノ一四 電話へ

タイプ印書 寫・代書







清水堂鍼灸院

知

五九五三③電 職社日朝 五三通祭三東



五四四九季

小

100十七回 2番

●胃腸病●婦人病

お



新色





金城靴店

電一九五二

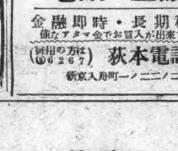




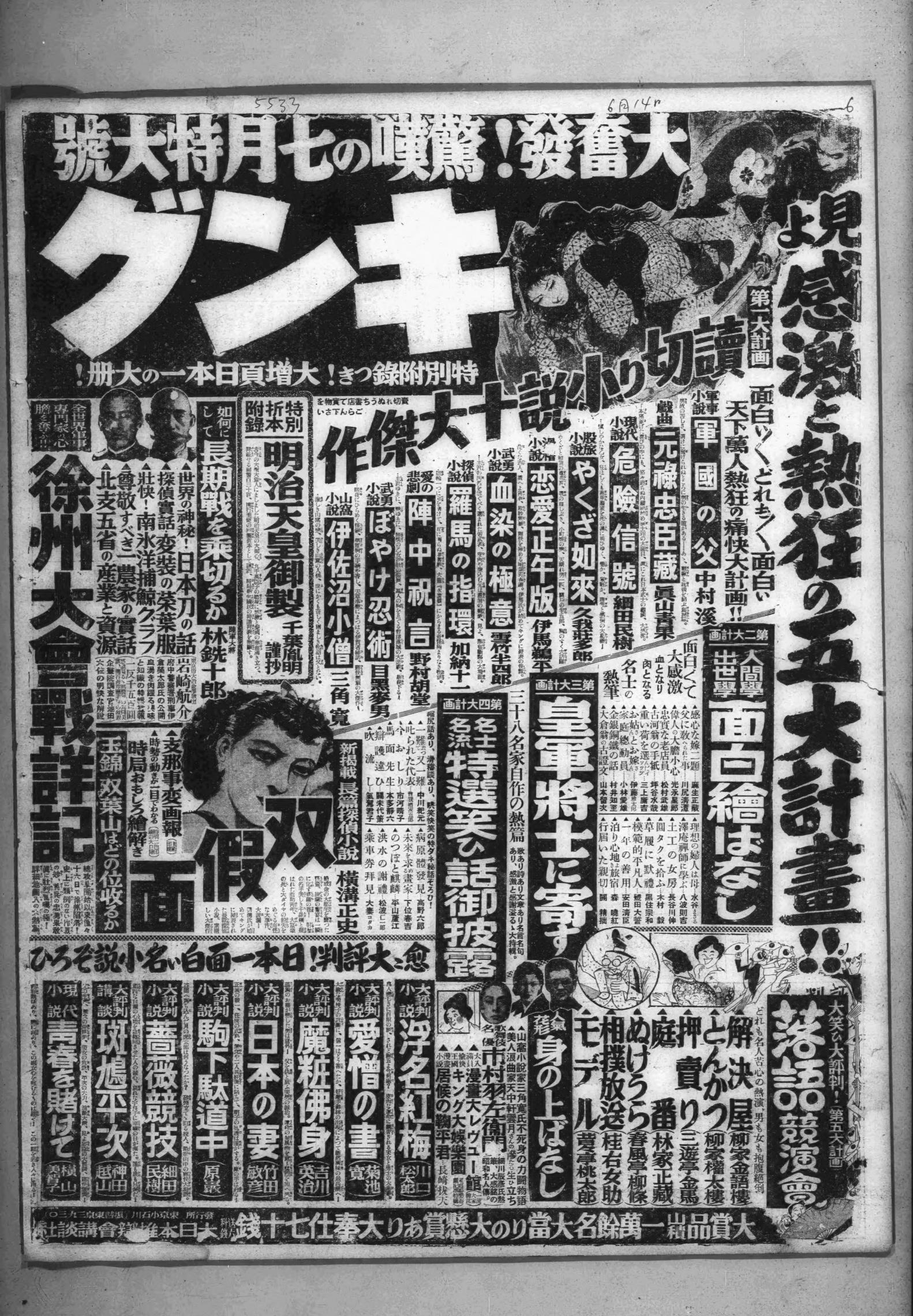
出

運

送







果橫近鷹 3-1

(電本)打得安徽签三四失 8階 田40010000 4近 塵40200010 7字多付40000010

知40000000 本31100010 台21010010 杯31000010 下30100010

W 3 3 4 2 0 0 6 1

(高州) 打傷安線整三四失 1種 内4 10 0 0 10 0 7 古岩 3 0 0 0 0 0 0 0 5型 原4 0 10 0 10 0 5型 原4 0 10 0 0 0 0 5平 日4 0 10 0 0 0 0 9章 木4 0 10 0 0 0 0 10 110 0 0 0

P日本 川家 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 6 第 歳 1 0 0 0 0 1 0 1 1 北 川北 川北 0 1 0 0 0 0 0 1 5 漢 鼠 3 0 1 0 0 0 0 1

潭寫眞展

一・ト に設て盛大た淡明試合を の日午後四時中より声解場コート に設て盛大へそれく (榮轉したので の日午後四時中より声解場コート に設て盛大た淡明試合を

受財

於是

類は一種に閉幕

気き 欠け

祖よ類の

最低 二二度七

御注文次第配達

いたしきす

追撃及ばず

對電々

戰一勝一敗

ふことになっ

本工 (電) 2 日本工 (本工 (本工) 2 日本工 (市工) 2 日本

◆九回(電)稻山二飛、近藤 ◆九回(電)稻山二飛、近藤 本九回(電)稻山二飛、近藤 本九回(電)稻山二飛、近藤 本九回(電)稻山二飛、近藤 本九回(電)稻山二飛、近藤

本「のぞみ」を記した。 一・ド・アップをはがあった。 一・ド・アップをはが、 一・ド・アップをはが、 一・で、主要都市風間 に伴ふ主要都市風間 でのぞみ」の新京延 でのぞみ」の新京延 でのぞみ」の新京延

織を残して

慕を閉ぢた

の急場を救つた主は首都警察 れてゐた、通りすがりの老婆 れてゐた、通りすがりの老婆

なら の盛況で十三日好成配した作品に會場は毎日押

に去り行く車を見送つて

國友、

磯崎雨氏

送別庭球戰

員大會へ

かあったわけでないなが、本をは菜に肩替りすれては未だ正式

山内前電々總裁は土ちじあ」で來京した

たが四、五

のぞみ。

新京延長

い記念品を贈昇す

ることに

新 (三) 四五〇三

告

秋實現か

總局が

改正打合

五兩日審

二十一日より三日間新潟市で本年度全日本方所委員大會は本年度全日本方所委員大會は

學生兒童の

夏休み

へ日本精神徹底

(日 曜 火)

本使幅数務部ならびに 関東局 等方針に就き 関係各方面と協 育方針に就き 関係各方面と協 資方針に就き 関係各方面と協 業者完中であつたが、この程 提剛勤勢率仕による身心の訓 変を左の如き方法により實施 すること ム たり十三日教務部

かの中で製居の半年から解放 された新京はまた水銀柱の急 数な上昇と共に水の戀しい國 がな上昇と共に水の戀しい國

を施して

月末には開場

別の改正を主限とし 別の改正を主限とし 別の改正を主限とし 別の改正を主限とし 別の改正を主限とし

代表美人のこととで其の置姿

新京中央通(新京神社館)

語で十一日から開催、先日の 清月潭寄季探勝會の際の競寫 が競寫した傑作揃ひ、モデル が競寫した傑作揃ひ、モデル

京

季行はしめる。 東神宮の洗煙を第一数とより、 東神宮の洗煙を第一数は最高のもの を利用した数は最高のもの を利用した数は最高のもの を利用した数は最高のもの を開放した。 を利用した数は最高のもの を開放した。 を対する。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがし。 をがし。 をがしる。 をがしる。 を

宅難愈よ深刻

材料高建築一齊手控

有株の 新じあで大 あじあで大 をの上本渓

か同問題について車の關係當局と正式協定の関係について車が開発について車が開発について車が開発について車が開発について車が開発について車が開発を置局と正式協

主催 子並に女子AクラスBクラスと は敷島高女が過去三年連勝、大野 得し本年は同優勝族を永久に獲 を急ぎつゝあり大會には間に かのではれてゐる、出場希望圏 が偲ばれてゐる、出場希望圏 宛印し込まれ度い

市内朝日通り三九大岩商貞方 岸川拓造氏は十三日本社を訪れ、去る八日物故しで酸父岩 大郎氏の初七日の供養をすま し遺骨を郷里佐賀に持ち織り 本郷を行ふに先立ち葬送の慶 世話になり供物香奠等を贈ら れた向へそれぐ〜返禮を行ふ 整のところ、時節柄その費用 を節し関防献金を行ひ故人の 岸川拓造氏

宮庭廟

答に

も新にたに來京する人々で斯 くして増加する人口に比すれ ば八百戸の増加も住宅緩和に は信前鈴遠遠の感を抱かしむ るに過ぎず関都の住宅難はさ あたに深刻さを加へるものと見

本溪湖株の

肩替

慎重に考へ

大倉男きのふ來京

病と決定、被害済尹君は直ち 受傷者は至急超出豫防注射を されたいと 射の音を

大勢明大の東京関係 の殿通戦 は十三日午後 の副者を決する早 東京大學野球春

二時半から神宮球場で暴行すた延期:十四十午後二時半から神宮球場で暴行すたが、雨でまたま

家庭

K 保

11

保險は大き

て確實な

H

大

大橋の 尼寺 7

地蔵まつり およう。 は、人きによって、 は、人きには、 のでしたのでこんなにも「故郷のみんなががつちり手を んでしたのでこんなにも「故郷のみんなががつちり手を がである」事も知らずに居られる縣人の方々が相當ある事だろうと思ひますが夕凉みがてら継い気持でお出ま に興じたいと思ひますが夕凉みがてら継い気持でお出ま に興じたいと思ひますが夕凉みがてら継い気持でお出ま に興じたいと思ひますが夕凉みがてら継い気持でお出ま に単じたがありしく來京された方々のためにお譲ひ 申上ます

國に

魁け首都本部勞働奉仕

れてある

員も動員

長春區東大橋町長森大街の東 に地臓寺といふ尼寺があり 尼さんが三十人ばかり居る。 その尼寺で十五日から十九日 迄地蔵まつりを舉行する 余與として支那芝居を無料 公開する外協和會首都本部 い協力して紙芝居を観せる などすばらしい賑ひをみせ るであつたが今年からは町會が 中心となり費用は町會を筆頭 に名慈善園體から寄附を受け に名慈善園體から寄附を受け 宮城縣人會事務所 常瀬町一ノ一六曜話(三)三〇〇 常郷町一ノ一六曜話(三)三〇〇〇 常郷町の都合もありますから薬書でなりと御一報下さる 標御順ひ申上ます (六月十七日迄申込のこと) 常郷町一ノ一六曜話(三)三〇〇〇 事務所 記念公會堂

総木公主衛署長 十六日赴任 十六日赴任 特の響正時半競列車で赴任に決 を後三時半競列車で赴任に決 と十三日挨拶に來社

藤谷條永村吉中田崎口月野原宗田

電力總 裁

御靴。御相談は 等にクートで 3 MILIES

電業對抗ラ戦 新京電業對索天電業のラグビ 新京電業33 (9 - 1 5) 8 電業 33 (9 - 1 5) 8 電業 33 (9 - 1 5) 8 電業

康德五年度

主藤蓮飯中數小久近八森吉岩寬距

康穰五年六

慈光助產士看護婦學校 新京蘇光路四/二

横竹松通橋本日ヤシ 際鳳凰商會內

、ボークテン 「傳及圖案に網験を 麗女 、宣傳部員 第二五二二二 2 2 名 名 名 名 名



圓十錢や) 社

回後の 電話(三)五六三〇 代设位

京金剛

=合

一組地

廻雜誌

新刊雑誌一ケ月八冊迄(一圓十年込火第に配來致します事込火第に配來致します

鞄專門店 一合永難店 新京東一條通三六審地 募 3

御引立の程御願致します。じます、漸く本十日竣工同日より開店いたしましたから從前通り何分の弊喫茶階下ホール儀兼て改裝の爲休業いたし皆樣に御迷惑相掛恐縮に存 ょ ル發賣致します

3

五

告 電話③二〇七二番

白慢のフジャアイス最中を發賣いたしますから一度是非御試食下さいたしました夏季の間菓子は不向の爲アイスクリーム専門殊にフジャ弊菓子部改造の爲永い間休業中の處本拾日漸く竣工相成同日より開店 自プラ

イス (一ヶ拾袋)

製工工工目

電話③二〇七二番

一人つつ絞めて笑れる。さあ

別の暗根をしめつけて四る。

株に東海道中、第一の難断といは

いた。「所人かな?」と思った。

陳栗眼をかはつて武士はおど3

は、しきりに苦しがっている。

節勢の好いのは難ばかり、職差

客の能器いたす原模能! そんなほ

しい男とが、喧嘩をやつて居る。

仲裁を仕たがるのだ。

「天下萬民の爲だ」

「煩さい似だなる、何故をんなん

て残る。位子供は抱き明よう

武士は別をふくらして。

「ヘン大きにお供給だ。放我つと

竹内各食料品店にあります

だ人や人足たちが、タイ (い

いいしれる

終人や人足たちが、ワイ (い

けて見ると道のまん中で、武者

ん。たつて仲裁を致すい

東で整く間にはから

上放上版 岩殿膝栗毛

で帰しい祖根越え、即けば松の異七郎は振り始の、のん気なや 刃下の豪傑 (11+11) 武士は怒鳴った。改盛のそうな

來を塞がれて、上り下りの旅人と を喰つたかたちで、プター不可 けは、いかにも顕常らしい。 岩見職太郎と五月人形の館園とす ところが、との喧嘩のために作 相手の武士は。大尺近い大男。

何處までも散標式だ。 喧嘩の起因はわからわが、 能人 双方とも地へい

と観覚の中を睨んだ。

ツカーと低へ許つて、 の職儀を気の毒に思った長七郎、

「仲談を致すと

真の健康美なつくる……

通關代辨 引越荷作業海陸運送 市內運搬

丸重洋行支店

新京富士町四丁月ノ四 六番

滋養タップリ

根の町。四里四丁を登つた場が縦 無事だったが、実践まで終ると覚しい。大時雨の板にからるまでは 下の方が様々しい。 時や、愛麗の選峰を仰ぎ、やがて から三島の宿へ、三里二十八町の「私とばしてゐる」 しの感も流へさら そこの茶店で中食をして。それ 富士見平で、三國一の寛士の監 やがて鮮朝所も無事に遭つて暗 舞と美しく、谷川の強れの書に

市立醫院眼科醫院眼科









電話 ③六三五四番

京 本年の新柄 御選擇は 門のちざりや京染店 京 條 通

小内 兒 科科 衛話(3)二五二〇書

斯界に多大の信用と

愛用者を有する